

# AIR事業参加の5人の作曲家/楽曲名とコメント



こしか つむぎ

## 小鹿 紡 氏 / ひかりのみち

長年の歴史や昔から大切に継がれてきている伝統、そこに在り続ける自然の時間軸のイメージを一定のリズムで流れるマリンバに重ね、その時々光によって表情が変わる様子をオーケストラの楽器の重なりによる色彩で表しました。具体的な対象のモデルは設定しておらず、聞き手それぞれが自由に感じ取れるような余白を意識しました。この土地でのかけがえのない思い出や、暮らす方々の未来に光を照らせる音楽であれたら幸いです。



すだ みなみ

## 須田 陽 氏 / 月冴ゆる ~東峰村と添田町を巡って~

東峰村と添田町の豊かなながらも厳かな自然の美しさと厳しさ、村民・町民の中にある温かさや強さを音で表現しました。自然に由来するものを和音に、人々に由来するものをリズムや旋律に表しています。作品の中でも特筆すべきは、英彦山にまつわる豊前坊大天狗の伝承から着想した「天狗のテーマ」です。

天狗のテーマ:<https://youtu.be/MnOm5qGDVJQ?feature=shared>  
曲中の至る所に現れます。



にしした こうへい

## 西下 航平 氏 / 管弦楽のための祝典序曲

縁もゆかりもなかった福岡県。ひょんなことからこの地に1か月近くも滞在し、東峰村、添田町の皆さまとこんなに交流を図ろうとは夢にも思いませんでした。今回私が作曲したのは「祝典序曲」。めでたいことの頭に演奏するような作品です。今回のプロジェクト、そしてこのコンサート。地元の皆さまなくして成り立ちえなかったものです。

そんなめでたい日に、ちょこっとお祝い。オーケストラが魅せる様々な顔を一曲で楽しんでいただける作品になりました。



はやし

## 林 そよか 氏 / ひこ星きらめく

未知の地に一人で滞在、一番最初は不安もありましたが、そんなものはすぐに吹き飛びました。現地での約1か月の生活は、毎日がきらきらと輝いていました。星が落ちてくるのではと思うくらいの満天の星空に感動した鮮やかな記憶、そしてたくさんの温かい皆さまとの出会いを通じて過ごした光り輝くような日々を重ねて、この曲を作曲しました。



ひがし あきゆき

## 東 秋幸 氏 / ハルキタリキキムカウ 春来喜気迎

小雨が降る中を散策した岩屋神社。そこで聴いた鐘の音が着想のきっかけでした。災害の爪痕、鉄道列車の記憶、優しく語りかける自然、まわるろくろ、ひらめきと思いやりにあふれた器たち、英彦山神宮で感じた大きく静かな力、雪の高住神社の神秘的な光景…この素晴らしい土地とそこに暮らす人々の営み、そして子どもたちが、これからもずっと光の中にありますように。「ハルキタリキキムカウ 春来喜気迎」は祈りと祝祭の音楽です。